

様式第 1（第 1 1 条、第 1 4 条、第 1 5 条関係）

ばい煙発生施設設置（使用・変更）届出書

年 月 日

岡崎市長 殿

住 所
届出者 郵便番号
氏 名
(名称及び代表者氏名)

第 7 条第 1 項
県民の生活環境の保全等に関する条例 第 8 条第 1 項 の規定により、ばい煙発生施設
第 9 条第 1 項
について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称		※ 整 理 番 号	
工場又は事業場の所在地		※ 受 理 年 月 日	年 月 日
ばい煙発生施設の種類		※ 施 設 番 号	
ばい煙発生施設の構造	別 紙 1 の と お り 。	※ 審 査 結 果	
ばい煙発生施設の使用の方法	別 紙 2 の と お り 。	※ 備 考	
ばい煙の処理の方法	別 紙 3 の と お り 。		

- 備考 1 ばい煙発生施設の種類の欄には、別表第 1 に掲げる項番号及び名称を記載すること。
2 連絡責任者の所属、氏名及び電話番号を記載した書類を添付すること。
3 ※印の欄には、記載しないこと。
4 変更の届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を別紙 4 により対照させること。
5 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格 A 4 とすること。

別紙1

ばい煙発生施設の構造

工場又は事業場における施設番号				
名称及び型式				
設置年月日		年 月 日	年 月 日	
着手予定年月日		年 月 日	年 月 日	
使用開始予定年月日		年 月 日	年 月 日	
規	伝熱面積 (m^2)			
	バーナーの燃料の燃焼能力 (重油換算 ℓ/h)			
	原料の処理能力 (t / h)			
	製品の処理能力 (m / h , t / h)			
	火格子面積又は羽口面断面積 (m^2)			
	変圧器の定格容量 (kVA)			
	触媒に付着する炭素の燃焼能力 (kg / h)			
	焼却能力 (kg / h)			
	乾燥施設の容量 (m^3)			
	混合施設の容量 (m^3)			
	溶解施設の容量 (m^3)			
	調整施設の容量 (m^3)			
	反応施設の容量 (m^3)			
	焼付施設の容量 (m^3)			
	抽出施設の容量 (m^3)			
	蒸溜 ^{りゅう} 施設の容量 (m^3)			
	模	脱脂施設の容量 (m^3)		
		脱脂・洗浄施設の空気に接する面積 (m^2)		
蒸発施設の容量 (m^3)				
濃縮施設の容量 (m^3)				
滅菌施設の容量 (m^3)				
発泡施設の容量 (m^3)				
吹付け能力 (ℓ / h)				
電流容量 (kA)				
ポンプの動力 (kW)				

- 備考 1 設置の届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用の届出の場合には設置年月日の欄に、変更の届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 規模の欄には、別表第1の中欄に掲げる施設の当該下欄に規定する項目について記載すること。ただし、同表の35の項の中欄に掲げる施設については、該当する欄をすべて記載すること。
- 3 ばい煙発生施設の構造概要図を添付すること。概要図は、主要寸法を記入し、日本産業規格A4の大きさに縮小したもの又は既存図面等を用いること。

別紙 2

ばい煙発生施設の使用の方法

工場又は事業場における施設番号						
使用状況	1 日 の 使 用 時 間 及 び 月 使 用 日 数 等		時から 時まで 時間／回 回／日 日／月		時から 時まで 時間／回 回／日 日／月	
	季 節 変 動					
原 材 料 (ばい煙の 発生に影響 のあるもの に限る。)	種 類 及 び 使 用 割 合					
	原 材 料 中 の 硫 黄 分 、 有害物質の成分割合 (%)					
	1 日 の 使 用 量					
燃 料 又 は 電 力	種 類					
	燃料中の成分割合 (%)					
	発熱量(k J /kg, k J /m ³ N)					
	通常の 1 時間当たり使用量					
	混 焼 割 合					
排出ガス量 (m ³ N/h)		湿 り	最大	通常	最大	通常
		乾 き	最大	通常	最大	通常
排 出 ガ ス 温 度 (℃)						
排 出 ガ ス 中 の 酸 素 濃 度 (%)						
ば い 煙 の 濃 度	ばいじん (g /m ³ N)		最大	通常	最大	通常
	硫黄酸化物 (容量比 ppm)		最大	通常	最大	通常
	有 害 物 質		最大	通常	最大	通常
ばい煙量	硫黄酸化物 (m ³ N/h)		最大	通常	最大	通常
参考事項						

- 備考 1 原材料中の硫黄分、有害物質の成分割合 (%) の欄及び燃料中の成分割合 (%) の欄の記載に当たっては、重量比%又は容量比%の別を明らかにすること。
- 2 ばい煙の濃度は、乾きガス中の濃度とすること。
- 3 ばい煙の濃度は、ばい煙処理施設がある場合は、処理後の濃度とすること。
- 4 ばい煙の排出状況に著しい変動のある施設については、参考事項の欄に一行程中の排出量の変動の状況を記載すること。

別紙 3

ばい煙の処理の方法

ばい煙処理施設の工場又は事業場における施設番号								
処理に係るばい煙発生施設の工場又は事業場における施設番号								
ばい煙処理施設の種類、名称及び型式								
設置年月日				年 月 日		年 月 日		
着手予定年月日				年 月 日		年 月 日		
使用開始予定年月日				年 月 日		年 月 日		
処理能力	排出ガス量 (m ³ N/h)	最大						
		通常						
	排出ガス温度 (℃)	処理前						
		処理後						
	ばい煙の濃度	ばいじん (g/m ³ N)	処理前					
			処理後 (捕集効率%)	()		()		
		硫黄酸化物 (容量比 ppm)	処理前					
			処理後 (捕集効率%)	()		()		
	有害物質	処理前						
		処理後 (捕集効率%)	()		()			
	ばい煙量	硫黄酸化物 (m ³ N/h)	最大	処理前				
			通常	処理後				
処理前								
処理後								
使用状況	1日の使用時間及び月使用日数等			時から 時まで 時間/回 回/日 日/月		時から 時まで 時間/回 回/日 日/月		
	季節変動							
排出口の実高さ H _o (m)								
排出口の頂口径 (m)								
補正された排出口の高さ H _e (m)								
排出速度 (m/s)								

備考 1 設置の届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用の届出の場合には設置年月日の欄に、変更の届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。

2 ばい煙の濃度は、乾きガス中の濃度とすること。

3 補正された排出口の高さH_eは、別表第6の付表第2の算式により算定すること。

4 ばい煙処理施設の構造図及び主要寸法を記入した概要図を添付すること。

別紙 4

ばい煙発生施設の構造（使用の方法・処理の方法）の変更

変 更 前	
変 更 後	
変 更 の 理 由	